



● 町長対話授業

町長に多くの質問を投げかける



ハロウィンにちなみティーパーティー形式で行われた対話授業

10/31 宮津天橋高校加悦谷学舎において「町長対話授業」が行なわれ、6人の生徒が参加しました。

今年も生徒会役員が中心となり、企画から運営まですべてを生徒たちが担当。生徒たちは町長に「なぜ町長になったのか」「海外で学んだこと」「反対意見への対処方法」などの質問を投げかけ、今後の進路や夢の実現に向けて真剣な眼差しで聞き入っていました。

●【慈徳院】紅葉ライトアップ

昼間とは異なる美しさ



ライトアップされた大師山のもみじ（11月20日撮影）

11/20 「丹後のもみじ寺」と言われる慈徳院（明石）において、「紅葉ライトアップ」が、11月9日から23日まで開催されました。

住職の松尾さんが、2003年ごろから地域の方々と一緒に植樹してきた約600本のもみじ。来場者らは、昼間とは異なり山一面のもみじが美しくきらびやかに照らされる幻想的な風景を楽しんでいました。

● 丹後大学駅伝 第86回関西学生対校駅伝競争大会

丹後路を駆け抜けた184人のランナー



第3中継所でたすきを受け取り走り出す平井さん

11/16 宮津市民体育館をスタート、京丹後はごろも陸上競技場をゴールとする「丹後大学駅伝 第86回関西学生対校駅伝競争大会」が開催された。

8区間74.4kmで競われた本大会には、オープン参加の青山学院大学を含む23校が出場。第4区では、与謝野町出身の平井迅さん（佛敎大学3年）が地元の声援を背に力走をみせてくれました。

●【のだがわこども園】けん玉教室

楽しく挑戦したけん玉



名人からけん玉のコツを教わる園児たち

11/22 のだがわこども園において「けん玉教室」が行なわれ、2人の名人から上手にできるコツや技を学びました。

本教室には年長児の22人が参加。名人から「ひざを使うと上手にできるよ」と教わりながら、大皿や小皿に乗せる技にチャレンジ。園児らは技が成功すると「できた」「見て見て」と笑顔があふれ、最後は真剣な表情で技の検定に挑んでいました。

● 与謝野町小・中学校音楽フェスティバル

心に響く子どもたちの歌声



身振り手振りを交えて歌った市場小学校の児童たち

11/6 子どもたちの音楽の祭典「与謝野町小・中学校音楽フェスティバル」が野田川わくばるで開催され、約240人の児童・生徒たちが美しい歌声を披露しました。

今年で18回目を迎えた音楽フェスティバル。

●【与謝・滝・金屋 命の里】秋の大感謝祭

地元のおいしいものをたんのう

11/10 秋の恒例となった「与謝・滝・金屋 命の里 秋の大感謝祭」が道の駅シルクのまちかやで開催され、多くの来場者でにぎわいました。

つきたてのおもちを振る舞う「千本づき」から始まり、ステージでは宮津天橋高校吹奏楽部や合唱部の発表、りんご皮むき競争などが行なわれ、会場を盛り上げました。地元のグルメや

● 第45回宮津ライオンズクラブ旗・糸井嘉男杯争奪 宮津・与謝地方少年少女野球大会

野田川が4年ぶり2度目の優勝



優勝メダルを手にする野田川スターボーイズの選手たち

「与謝野町歌」の斉唱で幕を開けると、山田小（4・5年）・市場小（4・5年）・加悦小（5・6年）・加悦中（2・3年）の児童・生徒たちが、日ごろの学習の成果を発表。会場には多くの保護者がつめかけ、響き渡る子どもたちの美しい歌声に大きな拍手を送っていました。



① 山田小学校
② 加悦小学校
③ 加悦中学校
（撮影者：清水悠翔さん／江陽中2年、総務課秘書広報係の職場体験で撮影）



多くの来場者に演奏を披露する宮津天橋高校の生徒たち

特産品のバザーも行なわれるなど、来場者らは秋晴れの1日を楽しみました。

宮津・与謝地方の8つの学童野球チームが参加した「第45回宮津ライオンズクラブ旗・糸井嘉男杯争奪 宮津・与謝地方少年少女野球大会（宮津ライオンズクラブ主催）」が宮津市民球場で開催され、野田川スターボーイズ（以下、野田川）が4年ぶりの栄冠を手にしました。

昭和52年から続く同大会は、平成29年から与謝野町出身で元プロ野球選手の糸井嘉男さんの名前を冠して開催されています。11月4日の決勝戦は、山田ボンバーズと野田川が対戦。打線がつながった野田川が試合を優位に進め、チームとして2度目の優勝を果たしました。